

陳情第7号 消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出

を求める陳情

討論一覧

賛成討論 門原武志 議員

消費税が導入されてから32年が経った。この間に国民が納めた消費税は総額 423 兆円、一方、大企業などの法人3税の減税額は 307 兆円あり、消費税が企業減税の穴埋めに使われている。社会保障のためと増税された消費税ですが、介護保険、医療の負担は増やされ、年金は減らされている。大企業や富裕層への優遇を是正し、税の集め方を見直すことが急務だ。生活必需品や水光熱費にもかかる消費税を減税し、コロナ禍で苦しむ低所得者層を救うためにも、消費税の5%への引き下げが緊急に必要だと考え、賛成。なお「自民党と政府がこれから頑張ろうとしていることに町議会が意見書を出すのは不適切」との意見があったが、消費税減税については自民党も政府も頑張っていないので意見書を提出しよう。

反対討論 水川 淳 議員

将来に負担を先送りにしないため、今の時代を預かるものがその責任をしっかりと果たしていく意味合いにおいて、現在の消費税率の考えに賛同する一人として、本陳情に賛同は致しかねる。高度経済成長に甘え、人口増加時代に甘え、日本の伝統的な風土・文化に甘え、依存してきた結果の今日の社会福祉の将来不安を、絶対に将来に先送ってはならない誓いの意味からも、この陳情には断じて反対の意を示しておきたい。

賛成討論 中野まさひろ 議員

「消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情」について、賛成の立場から討論させていただきます。私は、長期的には直接税・間接税ともに増税し、誰もが必要とする又はしうるサービスいわゆる「ベーシックサービス」を所得制限せず、すべての方々に給付する社会、つまり「幼稚園や保育園、大学、医療、介護、障害者福祉、義務教育の給食等の無償化、介護士や保育士の給与引き上げ、義務教育の給食費もすべてを無償化する」いわゆる高福祉高負担の社会を理想と考えております。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会的に弱い立場の方々ほど大きな負の影響を与えています。社会的に弱い立場の方々への支援のための暫定的な消費税率の 5%への引き下げには賛同いたします。